

まんのう町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定委員会（第2回）議事録

開催日時：令和5年10月26日（木）13:30～14:10

会 場：まんのう町役場4階第1委員会室

出席委員：長森委員長、白川副委員長、大山（康）委員、白川（正）委員、大山（保）委員、
三好委員、鈴木（正）委員、鈴木（平）委員、栗田委員、長谷川委員、川口委員、
山下委員、松本委員、黒木委員

事務局：池下、岡崎、庄、森西、真鍋、三崎

コンサル：大西

■次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - (1) 第9期介護保険事業計画（第1章～第4章）について
 - (2) その他
4. 閉会

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事

(1) 第9期介護保険事業計画（第1章～第4章）について
（コンサルより説明）

- 長森委員長
何か質問等ありませんか。

- 大山委員
14 ページ、まんのう町は施設サービスの受給率が高いですが理由は分かりますか。

- 事務局
先ずは、地理的な要因があると考えています。
高齢化率は琴平町の方が進んでいますが施設利用率はまんのう町より低い事を見ますと、琴平町は山間部が少なく歩いて行ける範囲に病院や買い物をするところがある。
一方、まんのう町は山間部も多く、高齢者が歩いていける範囲内に生活に関わる施設が少ないため、お子さんと一緒に住んでいないと移動が難しいなどの要因があり、やむを得ず施設を利用するところが高くなっているのではと感じます。
次に、町内には特別老人ホームや介護施設も比較的多いですし、ケアマネジャーや民生委員さんの見守り等の活躍もあって、施設利用に繋がり易い事も要因かと考えています。

- 大山委員
施設サービスの利用が多いから悪いということではなく、国は施設サービスの利用を減らして在宅サービスにもっていこうとしているので、その施設サービスの利用が多い理由がわからないと対応のしようがないと思います。
確かに利用できる施設が多いのはあるかなと思います。

- 事務局
介護保険の介護費用は一人当たり 180 万くらい使われていますが、施設に入られると一人あたり 300 万円以上必要となります。
在宅介護の利用を高めたいところではありますが、在宅介護は家族の方の支援がかなり必要となります。
ご家族が負担を大きく感じる様になって、結果、施設を頼るケースも多いです。
まんのう町では、健康寿命をいかに伸ばしていくかが重要な課題と考えています。

- 長森委員長
第4章までで質問はないか。これが最終形か。

○ 事務局

第9期計画は、基本的に第8期計画を踏襲させた形で、今回は介護予防と在宅をどうやっていくかというところに着眼した内容となっています。

第4章までについてはこれが最終形になるかと思えます。

次回の策定委員会では、第5章 介護保険事業の見込みが重点となります。

皆さんも気になる介護保険料がいくらになるのかをお示しできればと思います。

○ 鈴木（平）委員

感心している。よくまとめたなと思った。

(2) その他

次回第3回は11月中旬～下旬予定。

4. 閉会